



## 公開シンポジウム ひきこもりの現在・過去・未来

2013年7月13日(土) 13時30分～18時  
於：京都大学人文科学研究所 1F セミナー室 1

趣旨説明：13:30～13:40

パネルⅠ：13:40～15:40

ひきこもりの現在——何が問われるべきか

上山和樹 (精神保健福祉士)：当事者、運動体、アカデミズム

古橋忠晃 (精神科医、名古屋大学)：「ひきこもり」の人の立てた問い  
ディスカッション

Coffee Break：15:40～16:00

パネルⅡ：16:00～18:00

学校とは何か——不登校からみた「学校」

磯村大 (精神科医、金杉クリニック)：不登校と医療—「学校」と精神医学、Extimité  
としての学校制度

ニコラ・タジャン (トゥールーズ第2大学、日本学術振興会特別研究員)：  
フランスにおける学校中退の予防

La prévention du décrochage scolaire en France

ディスカッション

(パネルⅡは随時フランス語通訳を交えながら進めます)

司会：立木康介 (京都大学人文科学研究所)

入場無料・予約不要